**２０１7年（平成２9年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野名 | **Ⅱ-4(1)　健康で安心して暮らせる社会の構築（良好な大気環境を確保するために）** | 施策No. | **18** | 施策名 | **固定発生源対策の推進** |

|  |  |
| --- | --- |
| **目的、内容** | 工場等の固定発生源対策の推進NOx：法・条例規制等による排出量の削減、自主的な負荷削減への取組み促進VOC：大規模排出事業所に対する排出基準遵守指導、光化学スモッグ発生時における排出削減指導、自主的取組の促進 |
| **副次的効果、外部効果等** |  |
| **関係法令、行政計画等** | 大気汚染防止法：ばい煙（ばいじん、NOx、SOx）、一般粉じん、VOC府生活環境の保全等に関する条例：ばいじん、有害物質、特定・一般粉じん、VOC第9次大阪地域公害防止計画大阪府における窒素酸化物の排出抑制に係る推奨ガイドライン（2012年度～）：過去の関係要綱を統合大阪府化学物質適正管理指針：VOC排出抑制 |
| **国等の政策、社会情勢等** | 2012年12月中央環境審議会答申「今後の揮発性有機化合物の排出抑制対策の在り方について」2015年3月　中央環境審議会専門委員会が「微小粒子状物質の国内における排出抑制制度の在り方について 中間とりまとめ」を公表⇒現在、国においてPM2.5の健康影響に関する科学的な解明、生成メカニズムや発生源別の寄与割合の解明、VOCの文献調査、ばいじん等の追加的な排出抑制対策の検討などを継続して実施中 |
| **（参考）****講じた施策に記載した施策事業コスト** | 2014年度（決算額）（千円） | 2015年度（決算額）（千円） | 2016年度（決算見込額）（千円） |
| 1,848 | 1,664 | 1,795 |
| ※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。 |
| **取組指標及び実績**（施策効果の定量評価） |  | 名称 | 把握方法 | 実績 |
|  | VOC届出排出量 | 生活環境保全条例に基づく届出排出量をもとにした集計値 | 10.2千t/年（2013年度）、10.5千t/年（2014年度）、9.8千t/年（2015年度）【参考】10.9千t/年（2010年度） |
|  | 大気への化学物質届出排出量 | 同上 | 10.6千t（2013年度）、11.0千t（2014年度）、10.2千t（2015年度）【参考】11.3千t/年（2010年度） |
|  | 環境認証取得率 | 環境省「環境にやさしい企業行動調査」（全国データ） | 上場企業：79.3%（2010年度）、80.3%（2011年度）、84.8%（2012年度）、、81.1%（2013年度）、78.8%（2014年度）非上場企業：53.3%（2010年度）、52.2%（2011年度）、53.9%（2012年度）、49.7%（2013年度）、48.3%（2014年度） |
|  | 一般大気測定局の環境保全目標達成率 | 府環境白書データ | 二酸化窒素の環境保全目標（1時間値の一日平均値0.06ppm以下）非達成局の比率：0%（2014～16年度）浮遊粒子状物質の環境保全目標非達成局の比率：0%（2014～2016年度） |
|  |
| **工程表の進捗状況** | 工程名 | 進捗状況※ | 主な事業の名称 | 事業の実施状況 |
|  | NOx等ばい煙対策 |  |  |  |
|  |  | 排出事業者に対する排出抑制指導・規制（新たな知見に基づく項目・規制値の見直しを含む） | ☆☆ | 大気汚染防止規制指導事業 | 届出指導・審査、立入検査による改善指導等立入検査のべ件数　964（2014年度）、961（2015年度）、815（2016年度） |
|  |  | 事業者による自主的な負荷削減への取組みの促進 | ☆☆ | 化学物質対策推進事業 | 事業者に対する化学物質の排出削減の指導助言（施策No.26参照） |
| EMS構築に関する情報提供等の支援 | 大阪府EMSポータルサイトによる情報提供、セミナー等の広報 |
|  | ＶＯＣ対策 |  |  |  |
|  |  | 大規模排出事業所に対する排出基準の遵守指導 | ☆☆ | 大気汚染防止規制指導事業 | 届出指導・審査、立入検査による改善指導等 |
|  |  | 光化学スモッグ発生時における排出削減要請 | ☆☆ | 光化学スモッグ対策事業 | 緊急時対象工場へのNOx削減要請のべ９４５回（201６年度） |
|  |  | 化学物質管理制度を活用した事業者による自主的取組の促進 | ☆☆ | 化学物質対策推進事業 | 事業者に対する化学物質の排出削減の指導助言（施策No.26参照） |
| EMS構築支援 | （再掲） |
|  | ※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗 |
| **評価** |  | 評価 | 理由等 |
| 施策目的の達成状況 | 順調に推移している |  |
| 事業・工程の進捗状況 | 計画どおり進捗 |  |
| **計画見直し又は改善事項** |  | 見直し・改善点の有無 | 見直し・改善点の内容等 |
| 目標 | 無 |  |
| 施策の方向・主な施策 | 無 |  |
| 工程表 | 無 |  |
| その他の改善事項 | 無 |  |
| **関係課室** | 環境管理室、エネルギー政策課 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **環境総合計画部会委員による点検（所見）** | 点検評価手法の適正さについて | 評価結果について | 計画の見直し又は改善方針について |
| 点検評価の手続きについては、概ね妥当である。全国の環境認証取得率が減少傾向にある。大阪府においても同様な傾向か検討することが望ましい。 | 評価結果については、概ね妥当である。 | 計画の見直し又は改善方針については、概ね妥当である。 |